

女性が輝くつばめプロジェクト推進事業【燕市】

地域の実情と課題

- 当市は女性の就業率が高い地域ではあるが、より女性の活躍を推進するためには、女性が働きやすい職場環境の整備や女性の人材育成及び登用を促進する必要がある。
- 市内事業者から、業界全体で女性活躍推進について意識が低いという声があがっており、働く女性の声を事業者に届けるとともに、事業者の意識啓発を市が率先して行う必要がある。

事業の特徴

- 市内の経済団体等と協働した、事業内容の企画。
- 身近なロールモデルとして、あらゆる場面で活躍している女性や女性活躍推進に取り組む事業所(団体)を表彰することで、全ての女性が輝いて活躍しやすい環境づくりを進めるとともに、意識啓発を図る。
- 女性に限らず、事業者や男性従業員も対象として意識啓発を図り、ワーク・ライフ・バランスの実現や、女性が活躍できる職場づくりの取り組みを促進。

事業の効果

- 今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり中止や想定した参加者より少なかったが、各事業の評価を見るかぎりでは、女性活躍推進や働きやすい職場環境の整備、ワーク・ライフ・バランスの推進についての意識改革に進展が見られた。
- 市民・事業所意識調査は、従来の郵送のほかウェブ回答も可能としたことで幅広い世代から回答を得ることができ、ワーク・ライフ・バランスに対する理解が進んでいることを確認できた。

目的・目標

- 事業者と協力し、仕事と生活を両立できる働きやすい環境の整備や、働き方の見直しなどの意識改革によりワーク・ライフ・バランスの実現に取り組み、男女が個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を実現することを目的とする。
- 事業者を対象とした講座等の参加事業所(団体)数
[目標(年間)] 40事業所(団体) ⇒ [実績] 27事業所(団体)

連携団体

- 経済団体
 - ・燕商工会議所
 - ・吉田商工会
 - ・分水商工会
- 民間事業所
 - ・市内ハッピー・パートナー企業*

*ハッピー・パートナー企業とは

新潟県が実施している企業の登録制度。男女がともに働きやすく、仕事と家庭生活等が両立できるよう職場環境を整えたり、女性労働者の育成・登用に積極的に取り組む企業のこと。

今後の課題

- 働く女性の声事業者へ届けきれない状況は、依然として改善されていない。事業所の職場環境によって事業者や女性従業員の意識に温度差が見受けられることから、事業を継続することで、意識向上や働きやすい職場環境の整備促進、ワーク・ライフ・バランスの推進を図る必要がある。
- 性別や年齢にかかわらず、誰もが多様な生き方、働き方を実現できる取り組みを推進するため、新たなプロジェクトチームづくりを検討する必要がある。

事業の概要

●女性活躍・ダイバーシティ推進フォーラム

主に事業者を対象としたフォーラム。
事業者にワーク・ライフ・バランスの推進、女性が活躍しやすい職場環境をつくること経営力向上につながることを周知し、事業所のワーク・ライフ・バランス推進への意識改革を図る。

【開催】11月18日(木)13:30~15:00

つばめホールとオンライン併用

【講師】川島高之 様(NPO法人ファザーリングジャパン理事)

【参加者】事業者および住民 70名



当日の主な内容

- 講演
『中小企業が5年後も
継続していくためのマネジメントのヒント』
- つばめ輝く女性表彰2021 表彰式

●活動☆つばめこまち応援隊

働く女性による、仕事と生活を両立できる働きやすい環境を検討し、女性の活躍推進を目的とする女性の活躍創造プロジェクトチーム『活動☆つばめこまち応援隊』を設置。

【構成】市内事業所の従業員5名および市役所職員3名

【任期】任期3年(H31~R3)

【開催】R3は会議を4回開催

(4月22日、6月24日、11月4日、3月24日)



プロジェクトチームの活動内容

- 『マイキャリア×ライフプランセミナー』『女性活躍・ダイバーシティ推進フォーラム』の企画
- 『燕三条ものづくりメッセ』への出展
- 2期6年間の「活動報告書」の作成

●男女共同参画に関する市民・事業所意識調査

次期「男女共同参画推進プラン(女性活躍推進計画と一体)」の改訂に先駆けて、男女共同参画(女性活躍)に関する市民・事業所調査を実施。

■ 市民意識調査 調査対象: 満18歳以上の男女2,000人(男女各1,000人)

■ 事業所調査 調査対象: 燕市内の従業員規模10人以上の事業所のうち500事業所
(「令和元年度経済センサス 基礎調査 調査票」に基づく)

調査回収結果

【市民意識調査】 回収数(率): 863(43.2%)
【事業所意識調査】 回収数(率): 192(38.4%)